

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和4年3月15日（火）9：27～11：37
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	園田依子、安井博幸、原田豊彦、前田えり子、上田英樹、隅田雅春、足立義則、向井千尋、大西基雄、栗山泰三、渡辺拓道、河南克典、大上和則、小島政行、森本富夫
4. 欠席議員	なし
9. 協議事項	<p>議案第18号 令和4年度丹波篠山市一般会計予算</p> <p>議案第19号 令和4年度丹波篠山市国民健康保険特別会計予算</p> <p>議案第20号 令和4年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計予算</p> <p>議案第21号 令和4年度丹波篠山市介護保険特別会計予算</p> <p>議案第22号 令和4年度丹波篠山市水道事業会計予算</p> <p>議案第23号 令和4年度丹波篠山市下水道事業会計予算</p>
10. 議事の経過	<p>9：27 開会</p> <p>園田委員長 挨拶</p> <p>園田委員長 開議宣告</p> <p><b>総務文教分科会座長報告</b></p> <p><b>■議案第18号 令和4年度丹波篠山市一般会計予算</b></p> <p>渡辺座長より報告（別添参照）後、質疑応答。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;主な質疑応答等&gt;</b></p> <p>栗山委員 一般管理費に関し、（仮称）市内高等学校活性化市民会議について、市内3高校ごとに分科会を設置し、支援策や活性化策について検討するとの報告がありましたが、その委員会の委員構成ですけれども、例</p>

えば加西市でも北条高校活性化協議会を設立し、そういった取組がかつてされておりまして、その委員会のメンバーに、商工会関係者や市内の様々な関係者が集まって検討されたと聞いております。ある面、偏ったメンバーではなく、様々な分野の方に委員になってもらうことが必要ではないかと考えますので、これは要望になりますが、しっかり検討して委員を選んでほしいと思います。

渡辺座長

(仮称) 市内高等学校活性化市民会議のメンバーについては、栗山委員御指摘のような意見が分科会の中でもありました。現時点で詳細は決まっていますが、自治会長会やまちづくり協議会、またPTAの役員の方々に分科会に入っていただくという説明が担当課からありました。それを受け委員からは、そういったメンバーに限らず、議論がうまく進むように、もう少し多様なメンバーを入れるべきではないかという意見があり、それについては担当課も十分認識をされたと確認しておりますが、改めてご意見を頂戴しましたので、担当課には所管委員会として、そのような意見が出たことを伝えさせていただきたいと思います。

#### 民生福祉分科会座長報告

■議案第18号 令和4年度丹波篠山市一般会計予算

■議案第19号 令和4年度丹波篠山市国民健康保険特別会計予算

■議案第20号 令和4年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計予算

■議案第21号 令和4年度丹波篠山市介護保険特別会計予算

向井座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

#### <主な質疑応答等>

隅田委員

常備消防費のところで、女性職員の増加ということで現状3%、それを5%までにするということですが、私の認識では今の消防本部の建物の広さでは女性職員をこれ以上増やせられないというふうなことを以前聞いた記憶あるんですが、その辺りのやりとりというのはいかがだったのでしょうか。

向井座長

消防本部からは、女性職員について、国からの目標を達成するように努力していきたいということだけで、それに対する受入れ体制といえますか、施設的にどうなのかというような回答とかはもらってませんし、質疑も出されておられません。

隅田委員	<p>おいでよささっ子遊具設置事業なんですけど、最初に設置したのは有居だったと思うんです。800万円ぐらいの遊具を設置されたと記憶しておるんですが、令和4年度は城東のB&amp;Gなどに遊具設置されますよね。この遊具の大きさというのは、その地域の子どもの人数とか、その敷地の大きさとか、何かそのような基準が、あるんでしょうか。</p>
向井座長	<p>有居の遊具はおいでよささっ子遊具設置事業ではないと思います。おいでよささっ子遊具設置事業は、令和3年度に初めて行われた事業で、今年度は城南のアグリステーション、福住、それから後川に設置しています。それぞれ地域の要望を把握して、実際にお母さんたちからアンケートをとって、それと予算をすり合わせてしているというようなことです。</p>
隅田委員	<p>わかりました。地元の要望を聞いてそれに応じたような遊具を設置していくという認識でいいということですね。</p>
安井副委員長	<p>出産支援金支給事業なんですけど、そもそも、ささやま医療センターで分娩出来なくなって、それで遠くへの病院行かなきゃいけないからという交通費の補助から僕は始まったように理解しています。しかも、これは暫定的なものであって、市である程度、体制が整ったら廃止される事業だと思うんですけども、先ほどの説明聞いてますと、コロナで出産ということに費用がかかるから今回認めたみたいな、コロナが落ちついたらまた考えるみたいな説明のように理解したんですけども、それですとコロナが落ちつけば、この次はどういうふうに変わっていくのか、その辺りちょっと説明お願い出来ますか。</p>
向井座長	<p>分科会では安井副委員長が言われたような質疑をさせていただきそしたら当局側の回答は、先ほど報告させてもらったとおりです。その中で、ささやま医療センターでの分娩体制がなくなって、タマル産婦人科で令和元年度は33%、令和2年度は36%、令和3年度は39%と3割から4割の方がタマル産婦人科で出産いただいているんですけども、タマル産婦人科の先生も1人という状況です。今のところ、こういうふうにして4割ぐらいの方が市内で出産いただいているということと、あともう一つは、マイ助産師制度の利用が実際には7割程度にとどまっているということで、市内での出産数を増やしていきたいというように思っているが、なかなかそれも現状では難しい上に、今回、コロナの状況があって経済的にも支援が必要なのではないかとということで、十分に体制が整ってないことに加えてコロナの状況というような答弁でした。</p>
安井副委員長	<p>説明はおおむね理解できるんですけども、ただ、マイ助産師制度が</p>

充実しても、要するに医師がいないわけですから分娩は出来ないわけですね。だから、マイ助産師制度が 8 割、9 割の利用となっても、市内での分娩数は増えないんじゃないかと思うんです。それを考えると、例えばささやま医療センターで分娩が出来なくなったことに対する対策としては、例えば、遠くへ出産するために行くためのタクシー券とかそういう交通費的なものに対する助成に変わっていくべきじゃないかと思うんですが、そのような議論はされてないのでしょうか。

向井座長

今、言われたような具体的な議論は今回はありませんでした。当局側もこの事業の方向性は今後検討してまいりたいと思いますというふうに回答いただいておりますので、状況を見ながら、委員会としても今後注視していきたいと思います。

安井副委員長

暫定的に始まったものですから、恒久的にどういうふうになっていくのかっていうのは委員会としてよろしく見守っていただきたいと思っています。

渡辺委員

休日診療について、コロナ禍があって、市民センターではなかなか難しい状況が続いてくる中で、医師会のほうもいろいろと工夫をしながら対応してきていただいたことについて感謝いたしますし、令和 4 年度についてはにしき記念病院さんが本当に御尽力いただくというような方向になってるということは、非常にありがたいし感謝をしたいというふうにまず思います。その上で、ちょっと今の座長の報告それから施政方針の部分を見ながら、市として市民センターの休日診療所をどう考えているのかという部分がなかなか見えないなという部分があって、取りあえず休日どこか、診察をしていただける病院があって場所はどこでもいいということなのか、やっぱり決まった場所で休日診療を行うという意味も一定あったんじゃないかなと思います。その辺りの休日診療所の在り方について、一定の考え方を持って医師会と相談していくというようなことについての説明はなかったのでしょうか。

向井座長

分科会の中では、市としてどうしていくのかというような質疑ではなく、今後コロナの影響による市民センターでの再開についてどのように考えているのかという質疑が委員のから出ました。当局からは市民センターでの再開については、救急医療懇談会で話されたこととして、丹波篠山市医師会での考え方は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年度 3 月 31 日まではにしき記念病院で休日診療所を開設して、あとはコロナの状況により、市民センターに戻すのがいいのか、引き続きにしき記念病院でいいのかということについて今後検証していく必要があると

されていますので、1年間の状況を見ながら、再開できるのかどうか検討していきたいと思っていますという答弁でしたので、市医師会とともに状況を見ながら検討していくということでした。当局として、こうしていくというようなことは分科会としては聞いておりません。

#### 産業建設分科会座長報告

■議案第18号 令和4年度丹波篠山市一般会計予算

■議案第22号 令和4年度丹波篠山市水道事業会計予算

■議案第23号 令和4年度丹波篠山市下水道事業会計予算

栗山座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

#### <主な質疑応答等>

隅田委員 農業委員会雑入に計上されている農業新聞等取扱事務委託手数料の件ですが、年間購読数1,368部、購読されている人は104人となっていますが、どのような仕組みなのでしょう。

栗山座長 予算書の積算として単価×月単位の部数となっています。途中加入等もあるため、1,368部数となっています。

隅田委員 農業新聞は、月に何回くるのでしょうか。

栗山座長 月に複数回配達されます。

隅田委員 月1回来るのが1部という計算で、1,368部ということであれば、すごく少ないと感じましたので確認いたしました。委員会の中でも、農業新聞購読者を増やすような手だてをすべきではないかというような意見もあったと思うのですが、104人しか購読されていないのはすごく少ないですね。

栗山座長 委員会でも、購読数を伸ばすために、事務局側として何か新たな取組を考えているのかという意見も出ており、当局の説明では、増加させるため、推進期間等を活用して購読者を増加させていきたいという答弁がございました。

#### 議員間討議

園田委員長 討論、表決に入る前に、全体を通して何か意見はありますか。疑義がある場合、市長に確認しておきたい事項がありましたらあげていただきたいと思います。

— 意見なし —

ないようですので、今回は市長への確認質問はなしとします。

休憩（11：10～11：28）

## 討論・表決

園田委員長

ここで、議案第18号・令和4年度丹波篠山市一般会計予算に対し、栗山委員他3人から修正の動議が提出されました。修正案はお手元に配布したとおりです。

それでは、修正案と本案（議案第18号）をあわせて議題とし、提出者の説明を求めます。

栗山委員

議案第18号令和4年度丹波篠山市一般会計予算の修正案を提出するに当たり、提出者4名を代表して提案理由を説明いたします。修正案につきましては、歳入歳出予算の総額227億4千万円から、歳入歳出それぞれ740万9千円を減じ、歳入歳出それぞれ227億3,259万千円にしようとするものです。その内訳は、6款農林水産業費、1項農業費、2目農業総務費の説明欄「改修補助金（撤去相当分）」740万9千円を皆減し、それに伴い、歳入の19款繰入金、1項基金繰入金、15目温泉地施設整備基金繰入金842万3千円を101万4千円に改めます。改修補助金については、遠方の普通財産について無償譲渡する事件に関連して管理棟の改修に対する補助金（撤去相当分）として予算化されたものですが、財産の処分方法について再検討を行うとして、財産の無償譲渡事件そのものが撤回されました。しかしながら、関連する予算の修正には至らず、当初予算に含まれたまま計上されたものです。去る2月17日の予算決算委員会産業建設分科会での令和4年度当初予算審査において、執行部からの説明では、「遠方の普通財産処分に関連して管理棟の改修に対する補助金を計上していたが、支出せず、改めて調整する」との意向は聞きましたが、委員会での当初予算審査においては、執行停止をする予算も含んだ総額でしか審査を行う事が出来ないこと、また、執行権が議会にはないことがあげられました。また、無償譲渡予定であった建物については、当初建設に至った目的、役割が終了したと方向性を既に出している建物であり、土地所有者に対しては、市の責任で更地に整備した上で返還すべきである。市が再検討し、方向性を決めるという事であれば、再度市の方針が確定してから予算計上すべき といったような意見が出されました。協議の結果、私たち提出者4人は、この案件に関し、市の方針が固まったのち、新年度の補正予算で対応すべきと考え、今回の取り下げに係る

予算について歳入歳出とも皆減にする修正案を提出するものです。  
予算決算委員会の委員各位におかれましては、提出者の趣旨を理 解い  
ただき、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

園田委員長

提出者の説明が終わりました。これより修正案に対する質疑を行いま  
す。質疑はありませんか。

—質疑なし—

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

それでは、日程第9 表決を議題とします。それでは、修正案と本  
案（議案第18号）について、一括して討論を行います。

—討論なし—

修正案 議案第18号 令和4年度丹波篠山市一般会計予算

—賛成多数で可決—

修正議決した部分を除く原案

議案第18号 令和4年度丹波篠山市一般会計予算

—賛成多数で可決—

議案第19号 令和4年度丹波篠山市国民健康保険特別会計予算

議案第20号 令和4年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計予算

議案第21号 令和4年度丹波篠山市介護保険特別会計予算

— 討論なし、賛成多数で可決 —

議案第22号 令和4年度丹波篠山市水道事業会計予算

議案第23号 令和4年度丹波篠山市下水道事業会計予算

— 討論なし、全員賛成で可決 —

園田委員長

委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

— 異議なし —

園田委員長

本日の会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長  
において内容確認を行いたい。これに一任願いたい。

— 異議なし —

安井副委員長 挨拶

11:37 閉会